



2020年に開館。児童福祉、男女共同参画、
地域コミュニティとの連携をめざす

アキシマエンシス

オンライン視察&セミナー

アキシマエンシス(東京都昭島市教育福祉総合センター)の機能と目的をオンライン
で視察し、コロナ禍とこれからの図書館を考えます

●日時: 2020年 **10/26**(月) 14:00~16:00(予定)

●内容: 第一部 オンライン視察
東京都昭島市
「アキシマエンシス」
第二部 パネルディスカッション
「これからの図書館を考える」

●対象: 全国の地方議員
・自治体職員・研究者

●参加費: **無料** Peatix よりお申し込み下さい

申し込まれた方に当日の URL などを送ります。

●主催: ローカル・マニフェスト推進連盟

●協力: (株)図書館総合研究所、早稲田大学マニフェスト研究所

●問合せ: 早稲田大学マニフェスト研究所

TEL: 03-6214-1315 E-Mail: mani@maniken.jp(担当: 亀井・山内)

※ ZOOM を使ったオンラインでの視察、研修です。

カフェを併設した滞在型の図書館が人気を博し、近年の図書館のトレンドとなるなか、アキシマエンシスが2020年6月9日に開館しました。

アキシマエンシスは、小学校跡地に建設され、図書館×郷土資料室×教育センター×男女共同参画×児童福祉機能、そして、市民の交流の場と課題解決を支援する、知の拠点です。に加え、地域とつながることも目標にしており、これからの図書館の指標となると期待されています。

一方、コロナ禍で開館が約二か月遅れ、利用制限を行うなど、あらためて、図書館の機能とは何かも考えさせられました。

新たな社会様式における図書館とは? そして、これからの図書館に求められることは何か? アキシマエンシスのオンライン視察を行うとともに参加者と話し合います。どうぞ、ご参加ください。



アキシマエンシスは200万年前に当時海だった昭島エリアに生きていたクジラの名称から命名。館内に昭島市内で発見された化石のレプリカが展示されています